

第240回撮影例会報告

報告者 大星幹事

日時 平成26年11月29日(土) 午前9時~12時 曇り後雨 参加者 13名

撮影場所 円覚寺、建長寺 撮影対象 紅葉ほか

午前中は曇りの予報で、参加者は限られるのではないかと心配していたが、13名の参加があり、久々の盛会となった。人数が多いのと、時間の制約を考慮して、東慶寺と長寿寺に代えて久々の建長寺を加えた。

9時6分、先ず鎌倉の紅葉では随一と言われる円覚寺へ。北鎌倉駅、白鷺池、総門への石段周辺は入場を待つ観光客で溢れていた。統一行動が難しいと思われたので、撮影時間を10時30分までと決め、石段下周辺から自由に撮影を開始した。

最初に参道入り口の白鷺池の小さな2本の漆が目をついた。昨日来の強い雨に打たれて、漆独特の鮮やかな朱色が一際輝いていた。石段沿いの紅葉も見頃で、行き交う人々や行列の観光客がカメラやスマホなどで頻りに撮りこんでいた。

総門の周りの楓は色付き始めたばかりだが、薄日の空に抜いて撮ることが出来た。境内に入ると、右前方に杉林をバックに大銀杏が目覚めるような金色に輝いていた。仏殿西側と選仏場周辺は、妙香池畔と並ぶ円覚寺紅葉の中心。期待に違わず今を盛りと華麗な錦絵を繰り広げていた。多くの定番が撮られている場所で、オリジナルなフレーミングに工夫が要る所。

妙香池周辺も今が盛りで、池の上下や参道沿いなどから、工夫しながら多様なシーンを狙った。坂を上った所の如意庵、開基廟、黄梅院等の楓と銀杏はかなり紅葉が後れているように思えた。予定の10時30分過ぎ入口に集合し、降り始めた小雨の中建長寺へ向かった。建長寺に着いた頃には雨足も強まり、風雨の中の撮影になった。入口の参道沿いに、晩秋を惜しむかのように散り残った桜の紅葉が目をついた。建長寺の中心的な撮影場所である東司(トイレ)前の紅葉は遅れていて通過。

半蔵坊への山道を少し上がった左側の杉林の中に、雨で深みを増した数本の紅葉があつた。その奥まった所に、細長い参道と小門を設えた塔頭らしき建屋があり、情趣豊かな佇まいがあつた。なお進むと、左の懸崖に色彩豊かな数本の紅葉があり、これを撮り納めとした。

終わりに、紅葉を狙った今年の例会はズバリ的中した。この日の天気予報は曇りで、一縷の不安を抱かせたが杞憂に終わった。紅葉と言えば逆光狙いが常識だが、たっぷり降った雨に濡れた紅葉には深みがあり、例えようなない情趣がある。雨中の撮影で戸惑いもあつたが、数年に一度の紅葉に恵まれ、多くの名作が生まれたことでしょう。

撮影後は参加された方々全員の要望で、大船の寿司店で昼食会を行い、写真談義やよもやま話で友好を深めた。